

「レーザーセンシング情報によるスマート精密林業技術の開発」に関する
現地検討会のお知らせ

信州大学「レーザーセンシング情報を使用した持続的なスマート精密林業技術の開発」のコンソーシアム（代表 信州大学農学部 教授 加藤正人）は、政府が進める未来戦略 2018「農林水産業全体にわたる改革とスマート農林水産業の実現」でベストプラクティスとして支援を受けながら先導的に実証研究を進めています。『スマート精密林業技術』のさらなる展開に向け、平成 30 年度現地検討会を北信州森林組合管内の実証地で行います。

これは、農林水産省及び国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構の「レーザーセンシング情報を使用した持続的なスマート精密林業技術の開発（革新的技術・緊急展開事業）」の研究成果を公開するものです。

平成 29 年度は、関係機関と連携を図りながら、林業の成長産業化を目指し、川上での最先端の各種レーザー計測による精密計測と IoT 機能付き高性能ハーベスタによる収穫作業をつなぐことで、世界レベルでのスマート精密林業システムを公開しました。

今年度は、さらに世界初のドローンレーザーと簡易型ドローンによる伐採照査への活用、IoT ハーベスタによる定性と列状間伐の収穫と素材生産技術の開発・実践、現場運用システムを公開します。これにより、林業情報の見える化を含めた林業サプライチェーン構築を目指すスマート精密林業『長野モデル』を参加者の皆さまに感じていただき、全国展開を加速いたします。

11 月 15 日（木）、本事業の現地検討会を開催いたしますので、ご取材いただきたくご案内申し上げます。何卒宜しくお願い申し上げます。

記

- ◆開催日時：平成30年11月15日（木）午後1時～4時（受付開始 30分前）
- ◆主 催：信州大学、「レーザーセンシング情報を使用した持続的なスマート精密林業技術の開発」のコンソーシアム
- ◆集合場所：北信地方振興局（北信合同庁舎）
〒383-0061 長野県中野市壁田 955
- ◆内容・スケジュール
午後 1 時 北信州森林組合管内の実証地（山ノ内町向原スギ・カラマツ林）へ移動
午後 2～3 時 ドローンレーザー空撮と伐採照査 見学
午後 3～4 時 IoT ハーベスタ（コマツ）の収穫作業、現場運用システム 見学

<お問い合わせ>

〒399-4598 長野県上伊那郡南箕輪村 8304

信州大学農学部 事務局（担当：倉崎）

tel : 0265-77-1305 E-mail : kurasaki_atsushi@gm.shinshu-u.ac.jp